

北海道カーボンファーム推進協議体の設立趣旨

〔令和5年（2023年）5月25日〕
農政部食の安全推進局食品政策課

- 道では、全国に先駆けて平成3年度から健全な土づくりを基本に、化学肥料や化学農薬の使用を必要最小限にとどめるクリーン農業をはじめ、原則これらを使用しない有機農業などの「環境保全型農業」を推進してきました。
- こうした中、世界的にカーボンニュートラルの取組が求められ、本道農業が「ゼロカーボン北海道」の実現に貢献しながら持続的に発展していくためには、農業分野からの温室効果ガスの排出削減はもとより、農地土壌への炭素貯留効果などの吸収源対策についても推進していく必要があります。
- このため、本道農業の脱炭素化に向けて、幅広い分野の企業、農業者や農業団体、経済団体、金融機関、大学、研究機関、行政機関など多くの方々の参画を得て、農地への炭素貯留や温室効果ガスの排出削減、カーボン・クレジットの創出を共通の目的とした「北海道カーボンファーム推進協議体」を設立し、協働の推進母体として活動を進めていきます。

